

# 一般財団法人 主婦会館

## 2018年度 事業報告書（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

1. 運営事項	1
1.1. 理事会および評議員会の開催	1.4. 活動状況
1.2. 役員および評議員	1.5. 財務状況
1.3. 機構と職員	
2. 調査研究事業	3
2.1. 消費者問題に関する調査研究	2.2. 奥むめお研究会
3. 啓発および相談事業	3
3.1. 消費者相談室	3.4. 住まいの相談室
3.2. ティーンズカフェ	3.5. 税務相談
3.3. ほっとサロン・シングルマザーグループ相談会	3.6. 夫婦・親子相談
	3.7. 法律相談
4. 各種研究会、講習会などの開催	4
4.1. 消費者セミナー2018	4.7. シニアシングلزセミナー
4.2. 上映会（講演会、シンポジウム）	4.8. 消費者問題に関する展示
4.3. 「健康/権利」エデュケーター養成講座	4.9. 奥むめお・主婦連合会に関する展示および資料保存・管理
4.4. こころのケア講座	4.10. 北ドイツ反原発アーカイブ
4.5. ファシリテーター養成研修	4.11. 産直市
4.6. ひとり親サポーター養成講座	
5. 収益事業（貸会議室・宴会・スペースエフ・クリニック）	6
5.1. 貸会議室・宴会の概況	5.4. 販売促進活動
5.2. 施設・設備の改良	5.5. スペースエフの運営
5.3. 料理および提供方法の充実と見直し	5.6. クリニックの閉院

## 1. 運営事項

### 1.1. 理事会および評議員会の開催

《理事会》一般財団法人主婦会館第9回理事会 2018年6月11日（月）

- 【議案】
1. 2017年度（平成29年度）事業報告の件
  2. 2018年度（平成30年度）事業計画の件
  3. 2017年度（平成29年度）決算報告の件、同監査報告
  4. 2018年度（平成30年度）収支予算の件

《評議員会》一般財団法人主婦会館第6回評議員会 2018年6月29日（金）

- 【議案】
1. 2017年度（平成29年度）事業報告の件
  2. 2018年度（平成30年度）事業計画の件
  3. 2017年度（平成29年度）決算報告の件、同監査報告
  4. 2018年度（平成30年度）収支予算の件
  5. 理事の選任について

### 1.2. 役員および評議員（五十音順）（2019年3月31日現在）

#### (1) 理事8名

- |           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 有田芳子（非常勤） | 主婦連合会会長                    |
| 石岡克俊（非常勤） | 慶應義塾大学大学院法務研究科教授           |
| 清水鳩子（常勤）  | 一般財団法人主婦会館理事長              |
| 杉山達郎（常勤）  | 一般財団法人主婦会館理事               |
| 土居敬和（常勤）  | 一般財団法人主婦会館専務理事             |
| 永縄恭子（非常勤） | 日本女性法律家協会法律相談運営委員会委員長、弁護士  |
| 本田信介（常勤）  | 一般財団法人主婦会館営業本部長、フロントサービス部長 |
| 山本克哉（非常勤） | 日本生活協同組合連合会常務理事            |

#### (2) 監事2名

- |      |                        |
|------|------------------------|
| 糸田省吾 | 一般社団法人全国公正取引協議会連合会会長代行 |
| 和田正江 | 主婦連合会常任幹事              |

#### (3) 評議員6名

- |       |                        |
|-------|------------------------|
| 今成知美  | 特定非営利活動法人アスク代表         |
| 岡田光一郎 | 東京税理士会相談役 税理士          |
| 角田禮子  | NPO法人関西消費者連合会理事長       |
| 納米美恵子 | 特定非営利活動法人全国女性会館協議会代表理事 |
| 樋口恵子  | NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長  |
| 広岡守穂  | 中央大学法学部教授              |

### 1.3. 機構と職員（2019年3月31日現在）

・常勤理事3名、常勤顧問1名、職員27名、パート32名 ※（ ）内パート等単位：人

合計 27 (32)	男 12 (14)、女 15 (18) 平均年齢 43.1 歳 平均勤続年数 9.4 年	
公益事業部合計 4 (1)	企画	男 0 (1)、女 4 (0)
営業本部合計 19 (27)	営業部	男 2 (0)、女 5 (0)
	フロントサービス部	男 1 (1)、女 1 (0)
	ゲストサービス部	男 2 (5)、女 1 (4)
	調理部	男 6 (3)、女 1 (2)
	クリニック	男 0 (1)、女 0 (11)
総務部合計 4 (4)	総務部	男 1 (1)、女 3 (1)
	施設管理室	男 0 (2)、女 0 (0)

上記人員に加え、延べ 2,267 人のサービススタッフの応援を得て、業務を推進した。

2017 年度に引き続き、飲食業界のサービススタッフ確保が困難な中、何とかやりくりしながら人の手配を行ったことにより懸念材料であったサービススタッフ不足が若干、改善された。

### 1.4. 活動概況

公益事業においては主婦連合会事務局の協力を得てほぼ前年と同様に実施した。収益事業においては 5 期連続の黒字決算となった。来館者の安心、職員が安全に勤務できる環境作りを目指した。厨房内の環境改善は未達成となったが他に大きな事故や被害はなかった。犯罪抑止や利用状況の把握のため各階に防犯カメラを設置したことも要因のひとつである。危機管理についても災害時に備えた安否確認メールシステムを整備し、訓練を行った。また、会館内での防災訓練はもちろん、消防署主催の訓練にも多数の従業員が積極的に参加した。四ツ谷駅周辺の団体が集まって組織されている帰宅困難者地域協力会にも多数参加した。その他の活動としては悪臭問題 1 件に対応し、空調設備の刷新を行うべく業者を選定した。勤怠管理システムを導入したが本格稼働までには未達成である。大規模な給与改定の中で唯一残された号棒制の設定も完了した。

### 1.5. 財務状況

#### 1.5.1. 事業比率

公益事業と収益事業（貸会議室、宴会、スペースエフ、クリニック）の総収入は 540,180 千円で内訳は公益事業 627 千円（0.1%）、収益事業 539,553 千円（99.9%）だった。

#### 1.5.2. 全体状況

5,436 千円の黒字決算であり 5 年連続の利益計上となった。

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
経常収益	510,376 千円	535,077 千円	548,293 千円	540,180 千円
経常費用	496,316 千円	515,958 千円	524,098 千円	534,744 千円
経常利益	14,060 千円	19,119 千円	24,194 千円	5,436 千円
利益率	2.8%	3.6%	4.4%	0.1%

利益額の減少は収益面におけるクリニック売上の減少および寄付金収入がなかった

こと、費用面での職員給与の増額、退職金の支払いおよび飲食経営費(人件費、食材費)の増加によるものである。

### 1.5.3. 経費削減の徹底

水道光熱費について①電力会社を変更したがピーク時の使用が抑えられず増えた。②水道料金は使用契約の変更により下がった。③ガス料金は値上げの影響により増えた。他の削減対策としては残業をしない、させないことを目標とし定時での帰宅を実現するため上司からメンバーへの声掛けに注力した。シフトが確定した後でも会議・宴会の終了時間に合わせて出勤時間を調整し、極力残業をしないように注意を促した。

## 2. 調査研究事業（実施せず）

2.1. 消費者問題に関する調査研究

2.2. 奥むめお研究会

## 3. 啓発および相談事業

3.1. 消費者相談室（毎週火曜・木曜日 10：00～16：00）（無料）

消費生活相談員（消費生活アドバイザー）1名が来室（面接）、電話、文書（メール含む）で計30件の相談を受け付けた。通信、金融・保険サービス、賃貸不動産の契約に関する相談が多く寄せられた。内容別件数としては契約・解約について12件、その他が6件、安全・衛生が4件、他に4種8件であった。

3.2. ティーンズカフェ(女の子のためのこころと体の相談室) (予約制 1回 30分、無料)

10代の女の子の体・こころ・性に関する悩みなど多様な心配事を気軽に相談できる無料相談室を実施した。相談内容は性・心身・家庭・学校をはじめ社会の動向を反映した深刻な問題が多く、身体的不安（精神不安、発達障害、体調不良）や母子関係、異性問題などに関する相談が12件寄せられた。

3.3. ほっとサロン・シングルマザーグループ相談会

3.3.1. シングルマザー定例グループ相談会（無料）

NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむの協力を得て、母子家庭や離婚を考えている女性を対象に、参加者同士の情報交換や交流、相互援助を通し、個々の悩みや不安、心配事、疑問などを少しでも解消し、子供とともに安心して生活できるよう支援するため開催した。2018年4、6、7、9、11月、2019年1、3月で実施、計15人が参加した。

3.3.2. ほっとサロンクリスマス会〔定員数を越えたため、協力者が別会場で実施〕

3.3.3. 教育資金準備のためのセミナー

「まるわかり！！教育費セミナー」（2018年4月28日）

子どもの教育費資金に焦点をあて、経済的に困窮している世帯やその支援者を対象に、教育資金の準備ノウハウや奨学金など各種支援制度や、奨学金返済などを学ぶ講座を開催し、27人が参加した。

### 3.4. 住まいの相談室

#### 3.4.1. 「建築士に聞く！住まいのなんでも相談会」（2018年9月22日）

将来的な住まい、引継ぎ事例や今後に向けたチェックポイントなどをアドバイスする講座とともに、住まい全般に関する相談会（無料）を（株）象地域設計の協力で開催し、11人が参加した。

#### 3.4.2. 「マンション維持管理講座・相談会」（2018年11月23日）

マンション生活と管理組合を支援する「マンション維持管理支援専門家ネットワーク」の協力を得て、講座と相談会を行い、45人が参加した。

### 3.5. 税務相談

#### 3.5.1. 定例無料税務相談（毎月第1金曜日 13：00～16：00）

東京税理士会麹町支部との共催で毎月1回税務相談を実施した。不動産、相続、贈与、などを主とした所得税および資産税関連が大半を占め、計31人から39件の相談があった。

#### 3.5.2. 確定申告無料相談会

確定申告手続きをサポートするため、1Fロビーで確定申告無料相談会を2019年2月25～27日に開催、3日間で66人の相談があった。

### 3.6. 夫婦・親子相談〔実施せず〕

### 3.7. 法律相談

#### 3.7.1. 定例有料法律相談（常設）

日本女性法律家協会との共催。相談件数は60件だった。他施設における相談の充実などにより減少傾向にあるが、女性弁護士に対する期待は大きいと考え継続実施した。主な相談として、夫婦（離婚・DV）・親子問題、男女関係、遺言・相続などがあった。

#### 3.7.2. 無料法律相談

全国女性税理士連盟東日本支部の協力を得て、2018年4月21日に実施、46人から50件の相談があった。

## 4. 各種研究会、講習会などの開催

### 4.1. 消費者セミナー2018

消費者問題についての知見を深め、消費者の権利実現のために活かすことを目的として一般消費者対象として主婦連合会との共催で開催した。ネパールの古都バクタプールにある女性協同組合、ナリセワ貯蓄信用協同組合の会長の来日に合わせ、発展途上国において女性たちがどのように社会参加を実現し自立に向けた活動を行っているのか、その経験を学ぶセミナー「ネパールにおける女性の状況と自立に向けた取り組み」を2018年11月26日に主婦連合会と共催し、46人が参加した。

### 4.2. 上映会（講演会、シンポジウム）

1人の英国人が働きかけ、国連が9月21日をピースデーに定めるまでの10年を記録した

ドキュメンタリー映画「ザ・デイ・アフター・ピース」の上映会を一般の方を対象に主婦連合会の協力を得て9月26日に2回開催し、計48人の参加があった。

#### 4.3. 「健康/権利」エデュケーター養成講座

小、中、高等学校で、性の問題を扱う授業に招かれる看護師などがより深い理解に基づいた授業ができるよう、「命の大切さ」、「人権としての性」という概念について学ぶ場を提供した。延べ148人の看護師の参加があった。

#### 4.4. こころのケア講座

DVの被害者など、深い傷つきをかかえ心のケアを希望する女性に、DVの構造や心の傷のケアについて学ぶ講座を開催した。NPO法人レジリエンスのスタッフがファシリテーターを担当。毎月開催し、延べ185人の参加があった。

#### 4.5. ファシリテーター養成研修

##### 4.5.1. 「こころのケア講座編」

NPO法人レジリエンスの協力を得てDVの被害者や人間関係等で傷を抱えた女性たち向けの「こころのケア講座」を開催することができるファシリテーターの養成講座を開催した。2018年12月、2019年2月、3月の各2日、計6日でのべ78人の参加があった。

##### 4.5.2. 「デートDV編」

中・高・大学での1時間の講座を担えるファシリテーターを養成し、首都圏以外の地域でも、広く「デートDV」に関する講座が開催されることを目的とした講座を開催した。2018年9月8日に実施、11人の参加があった。

##### 4.5.3. 「トラウマを抱えた子ども・思春期の青少年へのアプローチ研修」

傷つきを抱えた子どもに対し、子どものケアのために必要な情報やスキルを学び、トラウマを抱えた子ども・思春期の青少年へのケアを行える人材の養成を目的とした講座を開催した。2018年9月9日に実施、28人の参加があった。

##### 4.5.4. 「ファシリテーター養成研修修了者のためのフォローアップ研修」〔実施せず〕

##### 4.5.5. 「解離に関する対応を学び支援者がその対応について学ぶための研修」〔実施せず〕

#### 4.6. ひとり親サポーター養成講座

##### 4.6.1. 「自己尊重トレーニングファシリテーター養成講座」

シングルマザー向けのエンパワメントセミナーのファシリテーターを養成し、より多くのシングルマザーの自己尊重感をアップさせ、就労や子どもとの関係に良い影響を与えることを目的に、NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむと共催で開催した。2018年11月3日に実施し、15人の参加があった。

##### 4.6.2. 「ひとり親サポーター養成フォローアップ講座」

ひとり親サポーター養成講座を受講した経験者に向けてフォローアップ研修をNPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむの協力を得て開催した。2018年12月1日に実施、25人の参加があった。

#### 4.7. シニアシングلزセミナー

高齢単身女性の半数以上が貧困にある現状を「雇用・労働」と「社会保障・税制度」から考える連続セミナーをわくわくシニアシングلزとの共催で2018年9月29日、11月10日に開催、延べ71人の参加があった。

#### 4.8. 消費者問題に関する展示

1Fロビーで一般来館者へ幅広い情報提供を目的として展示（1Fエレベーターホールも）を行った。

- ① 2018年4月 ファッションで子どもを交通事故から守る！「高視認性安全服」
- ② 5月～8月 ユニットプライス(単位価格表示)に関するアンケート調査結果
- ③ 9月～2019年1月 主婦連合会 70年のあゆみ
- ④ 10月～11月 VOCって何？きれいな空気のために私たちにできる事！
- ⑤ 12月～2019年1月「税の作文・標語・絵はがき」作品展
- ⑥ 2019年2月～ かわいく・かっこよく・おしゃれな「高視認性安全服」

#### 4.9. 奥むめお・主婦連合会に関する展示および資料保存・管理

3階の展示スペースおよび展示室において、一般の方を対象に主婦会館と主婦連合会の創設者である奥むめおおよび主婦連合会の歴史についての展示を継続して行った。

#### 4.10. 北ドイツ反原発アーカイブ

ドイツのゴアレーベン・アーカイブから寄贈された反原発ポスター類は、歴史的・文化的資産として貴重な資料であり、「北ドイツ反原発アーカイブ@プラザエフ」として管理した。2019年2月23日、八王子市民のがっこう「まなび・つなぐ広場」主催の学習会、3月2日、八王子協同エネルギー、二本松有機農業研究会主催の学習会での展示のため、パネル20枚を貸し出した。

#### 4.11. 産直市（全4回）

安心で美味しい全国各地からの産地直送の農作物、加工食品などを、「農民連ふるさとネットワーク」の協力を得て、2018年6月、9月、12月及び2019年2月の各2日計8日間、当館正面玄関前で一般販売した。

## 5. 収益事業（貸会議室・宴会・スペースエフ・クリニック）

### 5.1. 貸会議室・宴会の概況

#### 5.1.1. 収支概況

会議・宴会の売上げ目標4億6,520万円に対して4億7,662万円、達成率102.5%、5期連続の増収となるも粗利益では前年比▲238万円、前年比率99.3%で減益となった。2018年度は会議利用を中心に販売を行い、2017年度に比べ人員を多く配置して顧客満足度を上げるようにした。全体利用件数は、99件減の結果だったが大会場中心に（9階スズラン、7階カトレア、B2階クラルテ）39件増となり会議部門の売上、利益確保に繋がった。宴会に影響する料飲人件費と食事材料仕入れ費の増分もあり会

議・宴会合計で増収減益となった。

		2018 年度			2017 年度		
売 上	実績	4 億 7,662 万円 (前年 100.5%)	会議	2 億 2,074 万円	4 億 7,418 万円	会議	2 億 1,761 万円
			宴会	2 億 5,588 万円		宴会	2 億 5,657 万円
	達成率	102.5%			105.8%		
粗利益		3 億 4,515 万円 (前年比 99.3%)			3 億 4,753 万円 (前年比 106.2%)		

## 5.2. 施設・設備の改良

### 5.2.1. 貸室設備の更新等

中会場 2 か所の音響機器を更新した。主婦連会議室の貸し出し強化のため音響機器を充実させ、外部に公開するために一般貸出室名を「ソレイユ」としホームページに掲載した。

### 5.2.2. 施設の更新等

地下 2 階の多目的トイレを男性トイレへ改修し、B2 クラルテの男性利用者用とした。また、B1 階にあった男性トイレを封鎖し、倉庫として改修した。1 階エントランスにはデジタルサイネージを設置した。老朽化していた調理場内の設備を各種更新した。

## 5.3. 料理および提供方法の充実と見直し

### 5.3.1. 宴会メニューの見直し

多様化している宴会の要望に応えるべく外部店舗への視察や展示会に参加し新メニュー開発に取り組んだ。また、アレルギー対応等を含め、食材の多品目化による保管場所の確保にも注力した。

### 5.3.2. 仕出し弁当の取り扱い強化

知名度の高い人形町今半・なだ万等を新たに加え、ホームページ上に写真入りで掲載し利用を勧めたが予想に反し振るわなかった。

## 5.4. 販売促進活動

### 5.4.1. 新予約システムの導入

これまで主婦会館オリジナルシステムで管理していたが、開発者の退職に伴い 2019 年 3 月に新予約管理システム (STAY) を導入した。(本格稼働は 2019 年 7 月を予定。)

### 5.4.2. 重要顧客の早期予約のスケジュール化

年間を通じた反復利用顧客や、大型顧客の過去の予約状況を分析し、事前に次回の予約を打診するなどこれまでの待ちの姿勢から攻めの姿勢へと転じた。さらに既存顧客の予約を早期に確定し、新規顧客を入れ込む等のルームコントロールを実行しさらに売上向上に貢献した。

### 5.4.3. 顧客情報を活用した DM による展開

予約システムにより集積した情報を分析し、14 回 (2,536 件) 郵送を行った。

### 5.4.4. 広報の充実と展開

①空室状況をホームページに掲載し、約 10 件の新規予約を獲得した。②数名の担当



者からの発信だったスタッフブログを全従業員に拡大させたことにより多様な内容を定期的に発信することができた。③チャットを利用した問い合わせ窓口には会場の問合せやアクセス方法を確認する質問が多く寄せられた。チャット数は2018年度の合計で44回と昨年度の139回と比べて激減したがいたずら等を防ぐための設定に変更し、真剣に質問する方以外はカウントしない形となった結果である。

## 5.5. スペースエフの運営

### 5.5.1. ランチバイキング

利用人数 25,724 人（前年比 103.0%、760 人増）、売上 2,544 万円（前年比 105.1%、約 120 万円増）であった。増加の主な要因は、①定期的にイベントを行うことによる新規客増、②ホールスタッフの教育によるサービス向上、③LINE@の登録者数を 300 人まで増加させたことによる情報発信の強化、④展示会への積極的な参加によるスタッフの知識向上によるものである。

### 5.5.2. 宴会等の運営

利用人数 3,613 人（前年比 92.6%、288 人減）、売上 1,628 万円（前年比 90.1%、約 178 万円減）であった。前年に比べ減ったのはルームコントロールを行うことにより、会場の調整を適宜行ったことが要因である。（7 件 180 万円減）

## 5.6. クリニックの閉院

婦人科一般の医療と性関連分野でのカウンセリングを組み合わせた完全予約制で運営してきたが、従来から課題であった高齢である院長の後任が決まらないことを主因として収支改善への体制作りが難しくなったことにより直近 5 年間の累積赤字約 10,000 千円の解消のめどがつかず、2019 年 3 月末で主婦会館クリニックを閉院した。

以上